



女性活躍

企業

東日本コンクリート株式会社

土木工事

昨今、政府によって働き方改革が推進されるなか、宮城県においても「女性のチカラを活かす認証制度」を設け、働きやすい職場づくりやワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を応援しているなど、女性が活躍できる企業の取り組みに注目が集まっている。ここでは女性が活躍できる環境をつくり、先進的に取り組む企業を紹介していく。

TDB企業コード：100042765 法人番号：3370001009876
所在地：仙台市青葉区一番町2-2-13 仙建ビル5階
代表：山縣 修氏
設立：1951年（昭和26年）6月／資本金：1億円
電話：022-225-4421／<https://www.h-con.co.jp/>

今回紹介する東日本コンクリート（株）は、国交省や宮城県などの官公庁元請けを主体とした橋梁、防災施設および桁・梁・床版・マクラギなどPC（プレストレスト・コンクリート）事業、コンクリート二次製品の製造を手がけ、東北を中心にインフラ整備に貢献している。令和元年度、令和2年度に完成した東北地方整備局発注の土木工事において、国土交通省より優秀企業として3年連続の認定を受けている。男性社員がほとんどであった当社に、最近では女性社員の活躍が目立ってきているという。

代表取締役社長の山縣修氏は、「現場でものづくりをしたいという女性社員が増えてきており、まだまだ人数は少ないですが、マネージャークラスにまで成長する女性社員を今後輩出していきたいと思っています。また、若手社員がたくさん活躍しており、チャレンジ精神が旺盛な会社でもあります。ワーク・ライフ・バランスを整え、働きやすい環境をつくりながら優秀な人材を育て、東北の新しい基盤創造に貢献する会社であり続けたいと思っています」と話す。



現場で活躍する丹野さんの姿



従業員の丹野愛海さん

技術部工事課に所属する入社4年目の丹野愛海さんは、現場で作業を行う前段階において、設計書類の確認や寸法測定などの照査を主な業務として行っている。

学生時代はダムや用水路など農作業に関連する地盤整備といった農業土木を学んでいた。そのなかで、コンクリートやCAD、測量についても、高度経済成長期に造られた構造物はコンクリートがほとんどで、今後経年劣化で補修が必要になることを学んだことで、補修工事などにも携わりながら、橋などの構造物を造り、また震災復興のために貢献している当社に入社を決めたという。

現場も担当していた当時は、現場で働く女性が多かったという。「最初は、天候が悪化してもやらなければならない、体力的にもすごくきつい仕事でした。また、作業員さんに指示を出す際には、安全管理などに注意しながら気を配ることに苦勞しました。そのほか、図面通りに作るために、図面の読み方や寸法の出し方など覚えることが多く大変でした」と話す。

その経験のなかで、自分たちで手がけた橋が形としてでき上がる過程を見たことで、現在はそれを活かしながら照査の業務に携われているという。「分からないことは遠慮なく聞くことができる風通しの良い環境で仕事ができます。男性の仕事という印象が強い業界ではありますが、日々精進しながら、この仕事のやりがいを女性目線からも伝えられるようにしていきたいと思っています」といきいきと話す姿が印象的だった。

積み重ねた熟練の技に最新技術を取り入れ、もっと堅固で美しい橋やさらに快適な未来都市、「暮らしをつなげる」あたらしい基盤を創造したいとする同社の今後に注目したい。